

令和2年度 社会福祉法人 下市町社会福祉協議会 事業報告書

事 項	月 日	実施場所	備 考
役員理事会	6/5	町交流センター	・令和元年度社協事業報告・会計決算報告並びに業務及び会計監査報告について ・評議員選任解任委員会委員の欠員に伴う委員の選任について ・評議員選任解任委員会の開催日及び議案内容について ・定時評議員会の招集日及び議案内容について ・職務執行状況の報告について
	3/18	町交流センター	・令和3年度社協事業計画(案)並びに資金収支予算書(案)について ・評議員会の招集日及び議案内容について ・第三者委員の選考について ・職務執行状況の報告について
定時評議員会	6/23	町交流センター	・令和元年度社協事業報告・会計決算報告並びに業務及び会計監査報告について
評議員会	3/29	町交流センター	・令和3年度社協事業計画(案)並びに資金収支予算書(案)について

地域福祉部門

事 項	月 日	実施場所	備 考
赤い羽根共同募金 歳末たすけあい募金運動	10月～ 12月	町内全域	・一般共同募金(赤い羽根募金) 562,000円(前年比 -133,000円) 区長総代様依頼、職域(役場役職員、社協役職員、行政相談員、民生児童委員、教育委員、人権擁護委員、大紀、オーカワ、あきつボランティア、巴商事他)、学校(小・中学校)、窓口(社協、金融機関、秋津荘、エコープ、美芳野庵他) ・歳末募金(歳末たすけあい募金) 435,000円(前年比 -195,000円)
共同募金 地域福祉配分事業	年5回	町内各戸	・社協情報誌「夢ふうせん」発行 第138号から第141号
	各サロン 随時開催	町内30カ所	・高齢者ふれあいいきいきサロン支援 ・活動助成及び保険加入等支援 ・レクリエーション用具の貸し出し ・活動に関する相談及び支援 ・いきいきサロン連絡会の開催 惣上・栃原・平原・立石・広橋・新住(幸町・都町)・阿知賀・堀毛・秋津・才谷・仔邑・栄町・梨子堂・寺内・善城・宮ノ向・緑ヶ丘・小路・長谷・ほのぼのサロン(山崎・堂垣内・北口・天神・植木・青葉台・桧皮蔵・新町・本町)・今在家・田中・百歳サロン(阿知賀)・寿サロン(原野)・大峯・上阪・原谷・わらくサロン(小西団地)・下阪・丹生
	随時	80歳以上一人暮らし	・やすらぎ箱配布 不測の事態に備え、緊急連絡先等記入した箱を民生児童委員を通じ配布
	随時	町交流センター	・子育てサークルでんでんむし支援 母子の交流情報交換、季節の行事、学習等
	年間5回	町交流センター	・ふれあい子育てサロン 主任児童委員、民生児童委員により母子の交流や情報交換等で孤立化を防ぐ活動として開催 民生児童委員によるチラシ配布及び文字放送や夢ふうせんによる啓発活動
	随時	小学校 中学校	・福祉教育(小、中学校福祉学習支援) (手話講習会) 下市中学校 11/10 (高齢者や障害者理解及び車いす体験学習) 下市小学校 11/6 (高齢者理解と疑似体験及び車いす体験) 下市中学校 11/11
	年間3回	町交流センター 他施設等	・障害者地域生活支援事業 下市町肢体不自由児者父母の会 交流会(中止)・懇談会・施設見学等
	12月	町内全域	・歳末たすけあい見舞金(社協・善意銀行) 一人暮らし高齢者 163名配布
	4月	町内こども園	・災害対策支援 防災ずきん配布 14枚(園での防災訓練等)

事 項	月 日	実施場所	備 考
町受託業務及び 指定管理業務	・ふれあいのまちづくり推進事業		
	随時	町内全域	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の振興 ボランティアセンター運営推進委員会※中止 ・ボランティア団体への支援助成 町内ボランティアグループへの助成及びボランティア活動保険への加入 ・ボランティアグループ、個人ボランティアとの連携 親子で遊ぼう(英語で遊ぼう)、ふれあい広場※中止 ・機関紙の発行 年4回発行
	あきつボランティアグループ・下市おはなしの会・下市手話サークルせせらぎ・なかよしランドによきによき・更生保護女性会・学校支援ボランティア・観光ボランティア・食生活改善推進協議会・健康づくり推進員		
	・町児童館指定管理		
	年間	児童館	子どもの遊び場提供 来館者延べ29名(前年度比-157名)
	・町交流センター指定管理		
	年間	町交流センター	使用団体39団体 使用者延べ4,327名(前年度比-6,083名)
	・地域子育て支援センター		
	年間 月～金 年末年始 祝日を除く 午前9時～ 午後5時	町交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て親子の交流の場の提供と交流促進 ・子育てに関する相談、援助 保育士による相談・子育てサークル活動支援 ・英語で遊ぼう実施 ・ふれあい子育てサロン実施 おはなし・レクリエーション・クリスマス会・リズム遊び 開館日数 223日 延べ361名
	・交流事業		
	年間 月～金 年末年始 祝日を除く 午前9時～ 午後5時	町交流センター	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで多世代にわたる交流と憩いの場 ・子どもたちと遊びを通じた仲間づくり ・幼児や保護者との交流 子どもお楽しみ会※中止 Let's try ※中止 ふれあい広場 ※中止 開館日数 223日 延べ75名
	・家族介護者交流事業		
	年間4回	町交流センター 他	介護者他延べ62名 8/26・10/20・1/22・3/11 心身のリフレッシュ、介護者同士の交流、情報交換
	・介護教室事業		
	年間3回	町交流センター	参加者 7名～9名 9/5・11/7・2/13(中止) 介護についての知識や技術を学ぶ
	・認知症施策推進事業(認知症カフェ事業)		
	年間8回	町交流センター (5月～3月)	延べ220名 主に毎月第2金曜日 認知症の人やその家族、専門職、地域住民など誰もが気軽に参加でき、交流や情報交換を行う事が出来る「集いの場」認知症になっても気負うことなく出かけられる「地域の居場所」を作り、地域での助け合いが生まれる事を目指し開催。
	年間8回	町内8ヵ所 (出張カフェ)	寄せ植え、季節の工作等を実施。
	年間1回	町交流センター	本人ミーティング 延べ7名参加 認知症の当事者と家族が参加し、ゆったりとした雰囲気の中で、自分の思いを語る事が出来る場。本人の声を起点とした認知症地域支援体制づくりを目指し開催。
	・生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーターの配置)		
	随時	町内全域	身近な場所での支え合いの仕組みづくり、地域づくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域の支援ニーズ把握 独居高齢者把握、地域活動把握、地域課題整理、福祉団体の意識整理 ・社会資源把握 町内社会資源把握及び整理 ・資源開発(既存の活動含む) 生活支援サービス運営、資源開発に向けての検討 ・ネットワーク構築 生活支援サポーター連絡会、ふれあいサロン連絡会開催

事 項	月 日	実施場所	備 考
地域福祉活動計画策定	随時	町内全域	下市町の地域福祉計画と一体的な地域福祉活動計画を策定
下市町善意銀行の運営	随時	事務局	・下市町善意銀行の事務局及び窓口事務全般 預託件数 47件 1,386,133円(前年比 +3件 +129,502円)
心配ごと相談所開設	第1・3木曜	町交流センター	行政相談員、人権擁護委員、民生児童委員で構成
日常生活自立支援事業	随時	町・県社協	令和2年度 利用者 6名(前年度比+3名)
生活福祉資金貸付	随時	町・県社協	令和2年度 借受人33名 内、コロナ特例貸付28名(前年比+30名)
県フードレスキュー事業	随時	町・県社協	フードレスキュー利用者 4名(前年度比+3名)
令和2年度奈良県 社会福祉大会に参加	12月	奈良県産業会館	・奈良県社会福祉協議会会長表彰 ボランティア活動功労団体 1団体(いきいきサロン) ホームヘルパー功労者 5名、社会福祉団体功労者 2名
日常生活用具の貸出 (介護保険対象外)(車椅子)	随時	町内全域	貸出数 車椅子8台 延べ貸出対象者8名
福祉団体事務局及び支援	随時	事務局	・各団体の事務局として、会計及び活動推進に協力 ・ボランティアグループについては、活動支援 民生児童委員協議会、老人クラブ連合会、 身体障害者福祉協会、肢体不自由児者父母の会、 遺族会、白菊会、英霊にこたえる会、 あきつボランティアグループ、更生保護女性会 吉野郡民生児童委員連合会、 吉野郡身体障害者福祉協会連合会

介護サービス部門

事 項	月 日	実施場所	備 考
訪問介護事業	随時	町内全域	・ホームヘルパーによる身体介護及び生活支援業務 常勤ヘルパー2名 登録ヘルパー6名 利用者数 年間延べ 392名(月平均 32.6名) 前年比 +31名
障害者福祉サービス事業	随時	町内全域	・心身障害者に対する家事及び介護等の日常生活支援業務 利用者数 年間延べ 38名(月平均 3.1名) 前年比 +1名
居宅介護支援事業	随時	町内全域	・要介護者のケアプラン作成と各関係機関との連絡調整 介護支援専門員2名 利用者数 年間延べ 733名(月平均61.1名) 前年比 -19名 ・受託事業 ・要介護認定訪問調査 年間利用数 15名 前年比-29名 ・介護予防支援 年間利用数 178名 前年比+12名